

6. 減災対策における取組状況等について【資料-5】

幾春別川外地域部会

北海道

令和5年度 石狩川下流域減災対策協議会 空知総合振興局地域創生部の取り組み

空知総合振興局 地域創生部

(北海道地域防災マスター認定講習)

・ボランティアにより地域の防災活動に取り組んだり、災害時に於ける地域の防災リーダーとして活躍する「北海道地域防災マスター」を認定するため、講習会を開催

札幌管区气象台による
避難時行動に関するワークショップ

○日時

第1回（開催地：浦臼町）
令和5年12月6日（水）
（参加者61名）

○講習項目

- ・防災リーダーの役割、行動
（講師：空知総合振興局）
- ・気象基礎知識
- ・避難時行動に関するWS
（講師：札幌管区气象台）
- ・救急時の対応技術
（講師：滝川駐屯地）



陸上自衛隊による、救急時の対応技術の講義
（AEDの使い方・搬送の方法）



石狩川下流域外減災対策協議会

北海道上川総合振興局 危機対策室
減災に関する取組

石狩川下流の減災に関する取組【北海道上川総合振興局 地域創生部 危機対策室】

市町村の防災訓練・一日防災学校を通じた地域防災力の向上を図る取組

市民等を対象とした防災教育の実施、
防災意識の啓発

- 減災に関する取り組みを踏まえ、住民等が参加する防災訓練や一日防災学校等において、ハザードマップ（リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言）や、逃げ遅れの原因となる心理状態（正常性バイアス）等について、クイズやGp討議を活用して理解を促し地域防災力の向上を支援
- 市町村職員に対する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し災害対応力の向上に寄与

令和5年度に上川管内で実施した訓練支援及び一日防災学校
(黄色は石狩川下流水系市町村)

日時	訓練名	対象者	訓練内容等
6. 2	士別市災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
7. 12・13	富良野市災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
7. 25	幌加内町災害対策懇談会	自治会等	洪水等への備え・行動等
8. 30	東神楽小学校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所生活等
9. 4	旭川北高校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所開設等
9. 14	下川中学校一日防災学校	3年生	避難所運営(Doはぐ)等
9. 15	剣淵中学校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所生活等
9. 21	富良野東中学校一日防災学校	1～3年生	洪水時の行動、避難所生活等
9. 30	比布町災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
10. 11	剣淵町職員防災研修	職員	避難所運営(Doはぐ)等
10. 13	比布町災害対策本部訓練	職員等	洪水時における災害応急対策
10. 22	中富良野町防災訓練	住民等	避難・誘導、避難所生活等
11. 3	比布町町民防災研修会	自治会等	避難所開設・運営等
12. 12	比布中央学校防災教室	4年生	洪水時の行動、避難所生活等



東神楽小学校一日防災学校
(避難所生活)



比布町災害対策本部訓練 (DIG)

石狩川下流の減災に関する取組【北海道上川総合振興局 地域創生部 危機対策室】

- 避難所運営ゲーム講師養成研修会
- 北海道地域防災マスター認定研修会及びフォローアップ研修

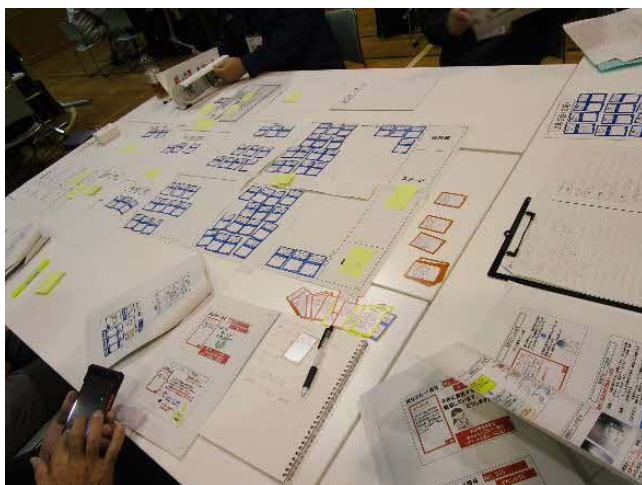
市民等を対象とした防災教育の実施、
防災意識の啓発

- 災害時における避難所運営を疑似体験できる「北海道版避難所運営ゲーム（Doはぐ）」を、多くの道民に普及させるため、「Doはぐ」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。
- 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、中富良野町で新規認定研修会、既存マスターの防災知識のアップデート等を目的としたフォローアップ研修を富良野市で開催。



Doはぐとは？

真冬に直下型地震が発生し、電気等が使えない避難所を運営するという想定のもと、250枚のカードで示された様々な条件を、グループで話し合って解決していく防災教育カードゲーム。



(左から) 避難所運営ゲーム講師養成研修会、北海道地域防災マスター認定研修会、北海道地域防災マスターフォローアップ研修

令和5年度 石狩川下流域外減災対策協議会

北海道の取組について

令和5年度 地域部会（第8回）
令和5年度 担当者部会（第2回）

北海道 空知総合振興局 札幌建設管理部
北海道 上川総合振興局 旭川建設管理部



R5年度 北海道の取組の概要

	項目	取組内容
1. ハード対策	洪水氾濫を未然に防ぐ	堤防整備の実施
		河道掘削の実施
		樹木伐採の実施
	大規模な水害による壊滅的な被害を軽減する対策	堤防天端保護工の実施
	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水防拠点の整備
水位局の整備		



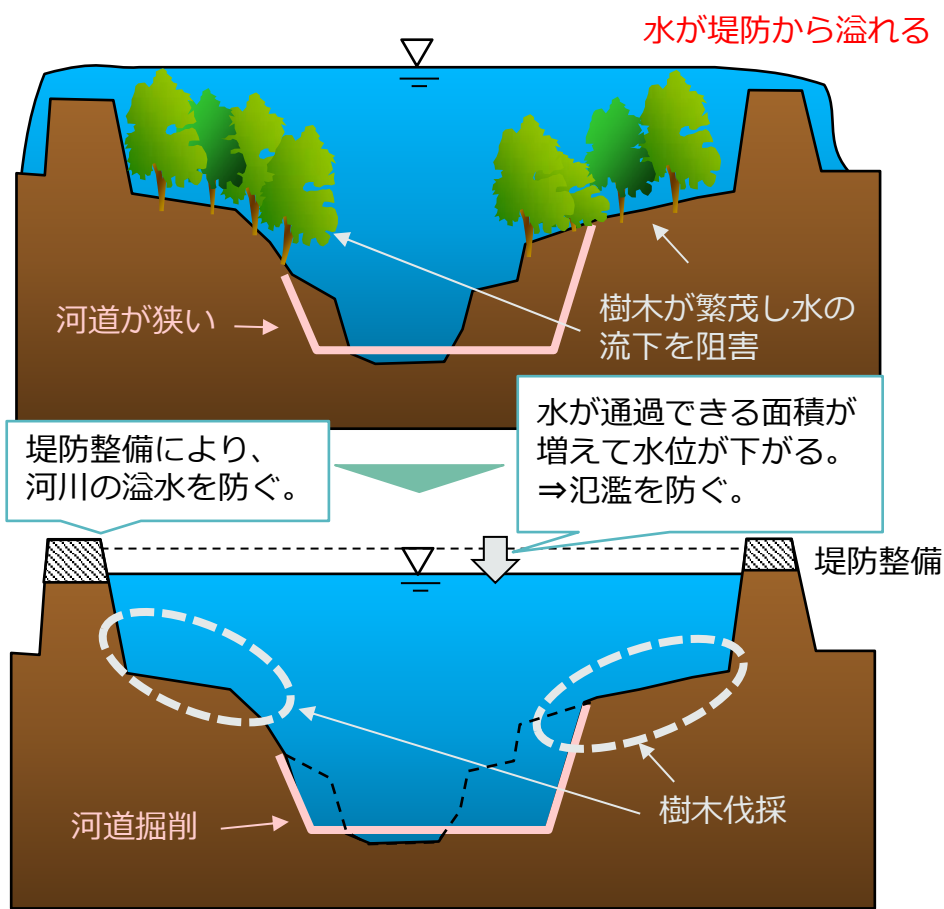
R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-1. 堤防整備、河道掘削、河道内樹木伐採

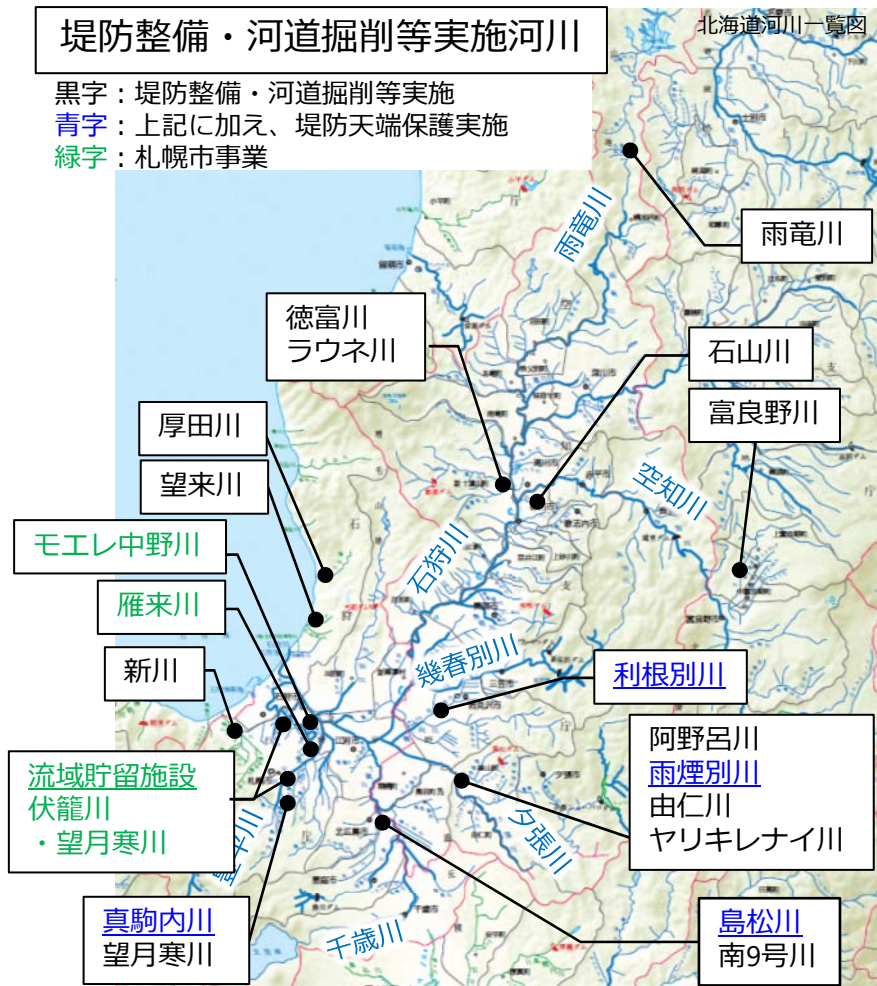
- ・洪水を安全に流下させ、洪水氾濫を未然に防ぐ対策（継続的に実施）
- ・堤防整備：河川の水が人家にある地域に侵入しないようにする。
- ・河道掘削・河道内樹木伐採：洪水時の水位を低下させる。

堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採



堤防整備・河道掘削等実施河川

黒字：堤防整備・河道掘削等実施
 青字：上記に加え、堤防天端保護実施
 緑字：札幌市事業



1. ハード対策

1-1. 堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採

豊平川部会：実施状況

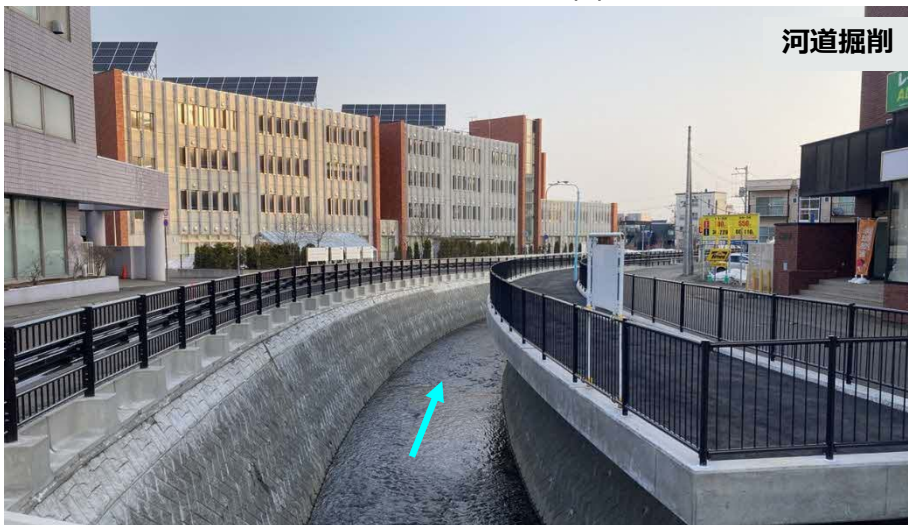
千歳川部会：実施状況



月寒川 施工済み箇所



南九号川 施工済み箇所



望月寒川 施工済み箇所



島松川 施工済み箇所

R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-1. 堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採

夕張川部会



雨煙別川 施工済み箇所

幾春別川部会



利根別川 施工済み箇所



阿野呂川 施工済み箇所



利根別川 施工済み箇所

1. ハード対策

1-1. 堤防整備・河道掘削・河道内樹木伐採

雨竜川部会

空知川部会



ラウネ川 施工済み箇所



石山川 施工済み箇所



雨竜川 施工済み箇所



富良野川 施工済み箇所



R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

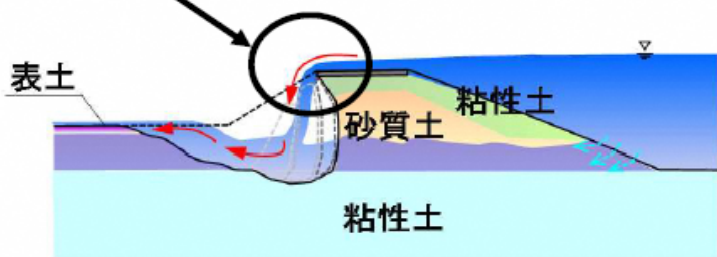
1-2. 堤防天端の保護

- ・ 氾濫が発生した場合にも被害を軽減する対策（継続的に実施）
- ・ 堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防崩壊の進行を遅らせる。
- ・ 堤防決壊までの時間を遅らせることにより、避難できる時間を延ばすことが可能。

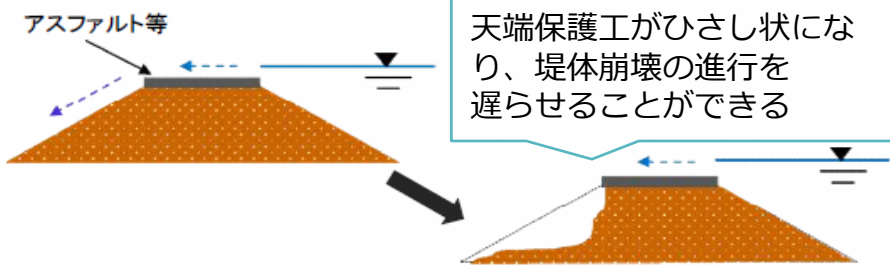
堤防天端の保護

堤防天端の保護

○ 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす

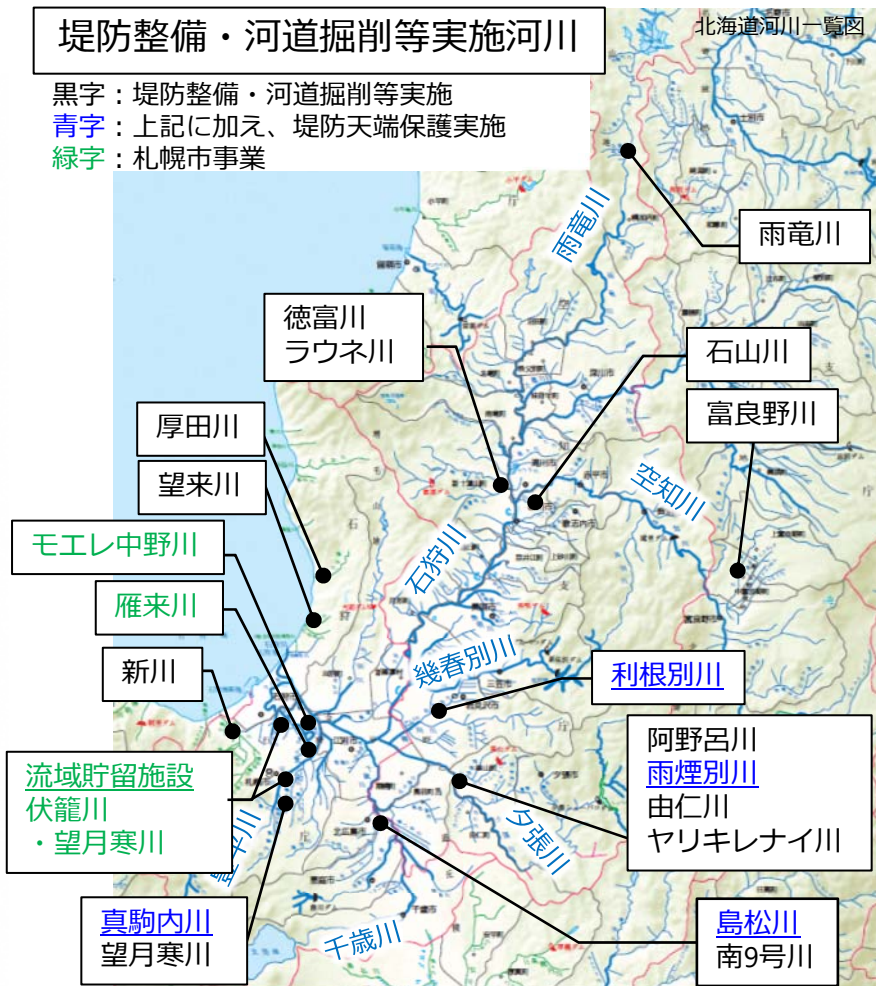


堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



堤防整備・河道掘削等実施河川

黒字：堤防整備・河道掘削等実施
 青字：上記に加え、堤防天端保護実施
 緑字：札幌市事業





R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策

1-2. 堤防天端の保護

- ・洪水を安全に流下させ、洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- ・堤防整備、河道掘削等の対策を継続して実施
- ・氾濫が発生した場合にも被害を軽減する対策（堤防天端の保護）についても実施

豊平川部会：実施状況



真駒内川 施工済み箇所

千歳川部会：実施状況



島松川 施工済み箇所

夕張川部会



雨煙別川 施工済み箇所

幾春別川部会

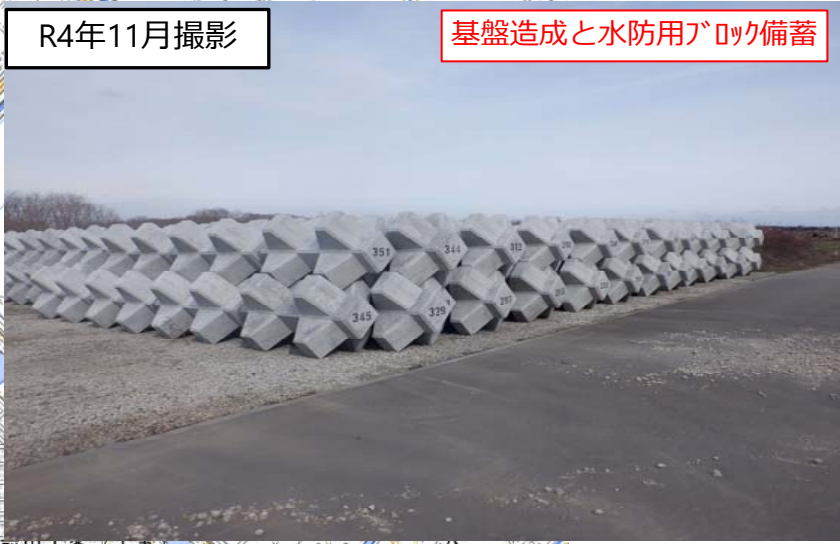
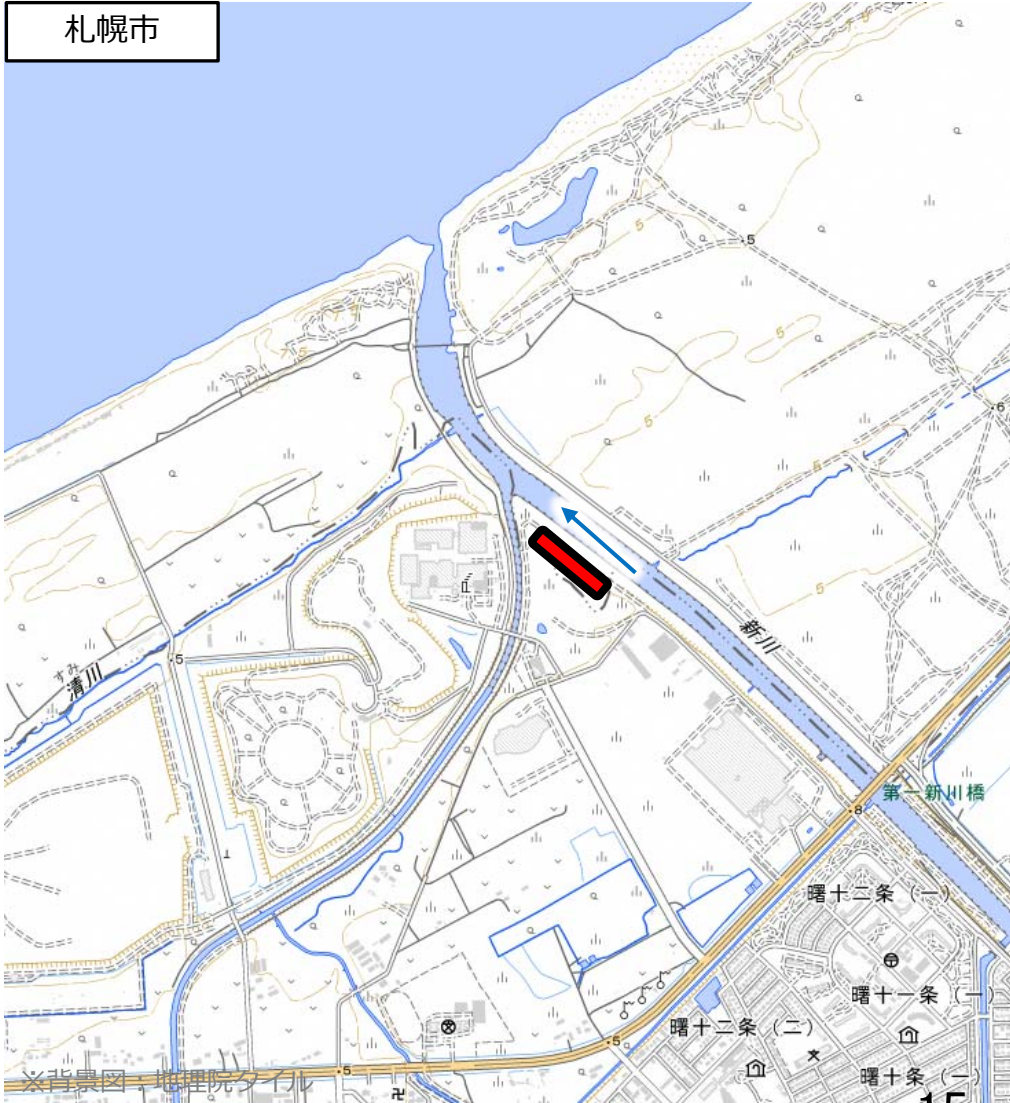


利根別川 施工済み箇所

R4年度の実施状況とR5年度の取組について

1. ハード対策 1-3. 水防拠点の整備

- ・ 札幌市内道管理河川の迅速な水防活動及び河川管理を行うため、水防拠点を整備中
- ・ 河川敷地を有効利用し、備蓄資機材の保管場所とする予定



岩見沢市

【岩見沢市】石狩川下流域外（幾春別川外）の減災に関する取組の実施状況

出前講座による防災意識の啓発

市民の防災意識向上のため、ハザードマップの見方や避難するタイミング、防災情報の伝達手段についての防災講話や、段ボールベット、段ボール間仕切りなどの避難所で使用する資機材の組立て体験を実施した。また、小中学校での出前講座については「防災チャレンジ」として実施し、講話や避難所で使用する資機材の体験の他に、消防による心肺蘇生訓練、応急手当訓練、応急担架作成・負傷者搬送訓練、煙体験、水消火器訓練を実施した。

(令和5年12月末)

	実施回数	参加人数
町会・自治会	12回	306人
防災チャレンジ	6回	630人
企業・団体	5回	62人
計	23回	998人



出前講座（防災講話）



防災チャレンジ（心肺蘇生訓練）

市民参加による防災訓練の実施

防災関係機関の協力のもと体験型の各種訓練を実施することにより、地域防災力の向上と市民の防災意識の高揚を図るために実施している。

令和5年度は令和元年以来4年ぶりに実施した。

日時：8月5日（土） 9時00分～11時30分

会場：中央小学校

参加機関：20機関

参加人数：220人



市民参加による防災訓練
（水消火器訓練）

防災関係有資格者連絡会議の実施

市内在住の防災士などの防災関係有資格者を対象に、地域の防災リーダーの育成及び防災関係有資格者と地域との連携強化を図るため、令和元年より実施している。

令和3年度からは、より地域の実情に合った活動とするため、市内を5ブロックに分け、地域別に内容を調整し会議を実施している。

また、有資格者の防災に関する知識の向上やスキルアップを目的に令和4年度から講師を招き研修会を実施して防災活動に対する意識高揚を図っている。



防災関係有資格者連絡会議

美唄市

【美唄市】美唄市で防災・減災に向けた出前講座を実施しました。

出前講座 (JAびばい女性部ほか)

・JAびばい女性部や自主防災組織などの市内5団体、参加者延べ89名を対象に出前講座を実施し、防災の知識を深め、地域防災力の向上に努めるとともに、自主防災組織の設立推進に取り組んだ。



防災学校 (市内小中学校)

・市内の小学校・中学校の児童生徒を対象に防災学校を実施し、防災資機材組立体験や防災の知識を深め、地域防災力の向上に取り組んだ。



三笠市

【三笠市】 減災に向けた取り組み状況

市民等を対象とした防災意識の普及啓発

①防災講習会

- 令和5年4月29日（土）：多賀町中央町内会
【内容】防災講話、火災予防講話、消火訓練
- 令和5年5月1日（月）：萱野地区自主防災組織
【内容】備蓄品の説明
- 令和5年7月9日（日）：多賀町西親交会
【内容】避難訓練、備蓄品の説明、ダンボールベッド組立
- 令和5年10月5日（木）
【内容】ハザードマップ説明、備蓄品の説明、ダンボールベッド組立
- 令和5年10月10日（火）
【内容】

②防災学校

- 令和5年7月19日（水）：三笠市立萱野中学校
【内容】避難所運営訓練



防災講習会



防災学校

【三笠市】 減災に向けた取り組み状況

市民等を対象とした防災意識の普及啓発

③一日防災学校

- ・令和5年9月7日（木）：三笠市立三笠小学校（1年生・3年生・5年生）

【内容】防災講話、防災かるた、ダンボールベッド組立



一日防災学校

④防災展示イベントの実施

- ・令和5年10月28日（土）：イオンスーパーセンター三笠店

【内容】ハザードマップ、備蓄品、ダンボールベッドの展示・説明

※消防団員募集PR活動を兼ねて実施



防災展示イベント

新篠津村

【新篠津村】①小中学校における防災教室の実施

実施内容：避難所運営訓練（Doはぐ）及び段ボールベッド組立体験等

目的：避難所運営ゲームで、災害時の行動をイメージし支え合うための行動を実践的に学ぶとともに、段ボールベッド組立体験等を通じた防災意識の向上を目的として実施。

小学校

実施日：令和5年12月20日（水）

実施場所：新篠津小学校

参加機関：新篠津村

対象：小学校5年生（22名）

避難所運営ゲーム（Doはぐ）



段ボールベッド組立体験



中学校

実施日：令和5年10月16日（月）

実施場所：新篠津中学校

参加機関：新篠津村

対象：全生徒（55名）

避難所運営ゲーム（Doはぐ）



段ボールベッド組立体験



【新篠津村】②地域住民を対象にした防災避難訓練等の実施

実施内容：防災避難訓練、段ボールベッド及びマンホールトイレ組立体験、防災講話等

目的：地域の水害リスクに基づいた避難訓練を行うことにより、災害時に必要な避難行動等がスムーズに行えるようにするとともに、防災講話等を通じて防災意識の向上を目的に実施。

防災避難訓練

実施日：令和5年11月24日（金）

実施場所：コミュニティプラザ第一

参加機関：新篠津村、新篠津消防署、江別警察署

参加人数：40名

防災避難訓練



段ボールベッド及び
マンホールトイレ組立体験



防災講話（江別警察署）



月形町

概ね5年で実施する取組の取組状況

⑥ 町民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発

令和5年に実施した防災教育

1	月形中学校防災学習における防災講話	9月14日
2	月形刑務所との合同防災訓練での防災講話	10月13日
3	月形小学校4年生を対象とした防災講話	11月10日
4	市南行政区が企画した防災訓練への協力	11月12日

講話の概要

月形町での災害の周知、災害時における注意事項、日頃の備え等について資料を作成し30分～50分間で講話

※ 月形中、月形小防災講話、月形刑務所、行政区に対する防災訓練時の写真について添付

その他に月形町で備蓄している防災食料等のうち、賞味期限が迫っているものを、防災教育参加者に配布して、町で備蓄している防災食を知ってもらうとともに、期限切れによる食品ロスの軽減を図る。

また、町で所有する防災用品を紹介することにより、災害時に避難所へ携行する必要がある物品の目安となる。

月形中学校防災訓練(R5. 9. 14)



月形中学校全校生徒は、地震想定により体育館へ避難を実施。

体育館に集合した後、中学校生徒を対象とした防災講話を実施した。

この際、災害動画を複数鑑賞させ災害への注意喚起を重視して講話を実施することができた。

月形小学校防災学習(R5. 11. 10)



月形小学校4年生生徒を対象とした防災学習として、防災講話及び備蓄品の組立等を体験させ防災への意識を醸成させた。

月形刑務所における合同防災訓練(R5. 10. 13)



月形刑務所周辺住民を対象とした避難訓練を実施して、指定避難所以外における避難について施設周辺の住民に周知するとともに、災害時の備えについて防災講話等を通じて醸成した。

市南行政区における避難訓練(R5. 11. 12)



市南行政区住民を対象とした避難訓練に協力して、月形町で備蓄している災害用品の展示（段ボールベット、パーティション等）するとともに、備蓄用食料の賞味期限切れ防止の一環として訓練参加者へアルファ米等を配布した。

次年度に向けた予定

- ・ 町内教育施設及び町内行政区に対して防災講話及び防災に関する内容について継続的に実施
- ・ 防災訓練の実施
- ・ 継続したタイムラインの修正